

第 14 回災害対策本部会議概要

日 時	令和元年 10 月 23 日 (水) 13 : 30
場 所	市役所本庁舎 2 階 特別会議室
出席者	吉崎副市長、菅野副市長、各特別職、各部局長、経済産業省、国土交通省 東北地方整備局、環境省、福島県、新潟県、陸上自衛隊、郡山警察署、郡 山北警察署、消防本部、郡山市消防団、郡山医師会、郡山市社会福祉協議 会、西園敏弘日本大学工学部教授

【各部局長報告】

○生活環境部長

- ・災害ゴミ収集について、協力事業者が 7 社増加。これを受けて安積、富久山、田村町内 8 地区に作業エリアを拡大。
- ・その他、自衛隊の協力体制等資料のとおり。

○税務部長

- ・昨日のり災証明受付は 239 件。うち WE B 87 件。延 4,812 件。
- ・り災証明に係る現地調査を新潟県、福島県、郡山市合同 28 組で明日から実施する。調査にあたり、新潟県、新潟大学、NTT が協力に開発したソフトを活用する。本日 14 時から説明会を開催する。

○学校教育部長

- ・本日から被災した小学校 3 校 10 校にはバスで輸送し授業を再開した。臨時休校は 5 日間となった。

○市民部長

- ・ふれあい FAX の送信内容について、資料のとおり報告する。

○選挙管理委員会事務局長

- ・県議選について市内 149 箇所 of 投票所のうち 3 箇所を変更する。
- ・浸水地域については地盤の安全性からポスター掲示板は設置しない予定。

○総務部長

- ・他自治体の派遣職員等の状況については、資料のとおりであるが、多くの自治体から支援に来ていただいております、感謝申し上げます。
- ・日本財団の支援について、学校やボランティア団体への支援などの支援メニューがある。各部局については関係団体に周知のこと。

○消防本部

- ・昨日避難所から1件救急搬送あり。

○消防団

- ・昨日は被災地域への出動なし。台風21号に備え警戒にあたる。

【リエゾンから】

○福島県警

- ・不審者情報があれば提供願いたい。
- ・避難所等、他県警の協力を得ながら避難所等警戒中。

○自衛隊

- ・本日、水門町等の災害ゴミ収集支援、高瀬小での入浴支援継続中。

○経済産業省

- ・各種物資搬入を継続する。
- ・工業団地の対策等、市長からの要望について、可否等検討する。

○国土交通省東北地方整備局

- ・中央工業団地の路面清掃実施中。

○環境省

- ・浪江町への災害ゴミ受入を継続中。

○福島県

- ・谷田川、藤田川の応急復旧整備中。

○新潟県

- ・被害調査の準備を進めており、明日から現場に入る。

○社会福祉協議会

- ・活動状況は資料のとおり。
- ・25日から5県6名の社協職員が派遣予定。

○日本大学工学部 西園教授

- ・現在開学準備中。市長視察に来ていただいた。現状については現在調査中。

【吉崎副市長より】

- ・本日、市長は関係省庁訪問中。
- ・市長からの指示事項を3点伝える。
 - ①各避難所の暖房機器について、バランスを欠く事のなきよう配置すること。
 - ②天皇陛下が皇太子時代に水サミットでの発言された「水害で重要なのは高齢者等、社会的弱者の救済である」ことを念頭に対応を図ること。
 - ③各省庁の災害支援制度について、ホームページ等で確認すること。また通知等日々更新される情報の収集を怠らないこと。
- ・今後は住居を失ったり災者の住宅の確保が重要となる。
- ・災害ゴミが増えており、一般ゴミ含めたゴミの絶対量の減量が課題。市民に現状を知っていただく必要がある。
- ・現在は被災者支援だけでなく「復旧対策」を行っている。
- ・民間企業の協力体制の確保や、台風21号への対策も怠りなきように行うこと。